

就学前施設再編説明会 （緑幼稚園）

場 所：緑幼稚園

日 時：平成30年6月12日（火）9時30分～11時20分

参加者：9名（就学前児童保護者7名、その他2名）

質疑等：

質問1 今回の周知方法はどのように行っているのか。

回答1 幼稚園やコミュニティ掲示板での掲示、子育てアプリ等で周知しています。

質問2 ニーズ調査の具体的な内容はどうなったのか。

回答2 平成32年度からの「子ども・子育て支援計画（5年計画）」を策定するために、今年の冬にサンプル調査を実施します。内容は、どのような教育ニーズがあるのか、どの施設（幼稚園・保育所等）に通いたいのか等です。このニーズ調査を実施することにより、今後、市内にどのような施設が必要になるのかを検討します。

質問3 公立幼稚園の再編のためのニーズ調査は実施しないのか。

回答3 再編のためだけの調査は予定していませんが、「子ども・子育て支援計画」策定のニーズ調査により、公立幼稚園への入園希望の意向は把握できると考えます。

質問4 公立幼稚園での3歳児保育はいつから実施するのか。

回答4 平成32年度から実施します。

質問5 平成32年度から3歳児保育を実施すれば、公立幼稚園のニーズが上がると思うが、どのように考えているのか。

回答5 3歳児保育の実施は難しいとされた平成26年の学校教育審議会による答申以降2年間、保護者等の意見を伺い、3歳児保育を実施することになりました。定員については、当初、私立幼稚園による抽選に外れた175人で考えていましたが、もっと定員を増やしてほしいとのご意見をいただき、定員225人の3歳児保育に踏み切ることとなりました。また、昨年、「子ども・子育て支援計画」の見直しでは、保育ニーズが高いことが伺えました。ただ、国が3歳児を対象とした幼児教育の無償化を議論していることもあり、公立幼稚園への入園希望

者数を見込めない要素も若干あります。

質問6 幼児教育推進計画は、幼児教育をより良くしていくために実施されるものだと思うが、園児数が少なくなったため統廃合しようとするのはなぜか。何人が少人数なのか。公立幼稚園をより良くしていくための再編であれば、統廃合よりどのような教育を目指しているのか。

回答6 伊丹市では、平成20年から公立幼稚園の適正配置や、適正規模について議論してきました。単学級、複数学級それぞれに良さはありますが、複数学級であれば、多くの友達に出会えるということや、クラスを解体して新しい集団をつくって遊ぶなど、いろいろな学ばせ方ができます。

1クラスの適正人数については、全国の先生たちの意見を文部科学省が集約しており、それによると20人程度が良いと言われています。伊丹市学校教育審議会においても20人程度が適正規模と判断されています。実際の保育においても、4歳・5歳はある程度集団になり、最初から仲良くするというよりも、1人1人がいろいろな自己主張しながらぶつかり、トラブルを解決していくことに学びがあります。

現在、幼稚園・小学校・中学校においても、自分で問題解決をする能力が将来生きていく上で必要とされていることから、まずは集団を作っていきたいと思います。

質問7 統廃合し園児数が増えた時に、大人数になじめない、自分から発言できない子どもはどうなるのか。規定では担任1人で30人の園児をみるのかもしれないが、今回は異例で、4歳児で入園し5歳児で転園することになる。平成32年に転園した子どものケアはできるのか。1人1人の子どもの価値を見れる先生がいるのか。何か手段を検討できないのか。

回答7 園児数が増えたとしても、乳幼児期の教育の基本は1人1人の子どもを見るということが大前提です。1人1人の興味・関心を探り、教室の環境を整えます。集団での学びと両輪で、1人1人への教育も行います。

質問8 職員配置は、まだ決まっていないのか。平成32年に子どもを通わせる幼稚園の職員体制がわからなければ、子どもを預けることが不安だ。同じ幼稚園でも、年長になった時に変化に対応しづらい子どももいる。そうなった時にも、前年と同じ先生であれば安心感がある。

回答 8 公立幼稚園の教員においては、市内の幼稚園を異動することもあります。再編時の人事配置につきましては、検討します。

質問 9 みずほ幼稚園と緑幼稚園のシステムで違う箇所があれば、平成31年の1年間で、3園交流（みずほ幼稚園・緑幼稚園・北保育所）など、みずほ幼稚園に慣れる工夫はできないか。統合に向け、準備をきちんと見える形で進めてほしい。

回答 9 行事等については、教育課程にかかることから、権限は園長にあります。事前の交流などについては、園長先生方ともに検討します。

質問 10 みずほ幼稚園で3歳児保育を開始し、みどり幼稚園も統合すれば、子どもの数が増える。みずほ幼稚園は運動会を今年は幼稚園で行うという噂を聞いた。今後、園児数が増えても幼稚園で行うのか。

回答 10 園児数が減少してきたことで、みずほ幼稚園で運動会を実施するものです。園児数が増えれば小学校での実施になると思います。

質問 11 売却方法を教えてほしい。

回答 11 基本的には売却ですが、今後、この地域での保育需要があれば保育所を誘致などは考えられます。売却方法等については、幼稚園の閉園時期も決定していないため、詳細は決まっていません。

質問 12 緑幼稚園が存続する可能性はないのか。3歳児保育を実施してみてもダメなのか。絶対に再編しなければならないのか。

回答 12 Dブロックの再編については、これまでも教育委員会で何度も議論をしまいましたが、最終的にはこれまでのニーズでもって、みずほ幼稚園を存続することとなり、緑幼稚園は閉園することとしています。

質問 13 緑幼稚園がみずほ幼稚園に統合されれば、この先、現みずほ幼稚園の場所で園運営を行うのか。みずほ幼稚園はそれほど新しくない。緑幼稚園をこども園にして新しくできないのか。

回答 13 みずほ幼稚園は長い間、改修していませんが、今後、改修する予定であり、今年の夏には園庭の改修工事を実施します。

質問 14 緑幼稚園の子どもがみずほ幼稚園に通うとき、全員が走り回れるスペースはあるのか。安全管理はできるのか。

回答 14 子どもの人数が増えるため、現在より狭く感じると思いますが、規定上問題はなく、十分な広さは確保できます。

質問 15 各幼稚園の特色はあると思うが、ある程度、統一できないのか。

回答 15 公立幼稚園としての方針は、今後も大きくは変わりません。各園の生活の流れやそれに伴う方法などの詳細については、存続園や閉園の園とのすり合わせが必要だと思います。

質問 16 5歳児2クラスになる時、みずほ幼稚園と緑幼稚園出身の子どもは混合クラスになるのか。

回答 16 子どもの生年月日等の発達段階をみてクラス編成をすることになるので、混合クラスになります。

質問 17 みずほ幼稚園から60人、緑幼稚園から20人の子どもが応募すると、入園できない子どもがいるのではないのか。

回答 17 みずほ幼稚園は6教室あるため、3クラス編成も可能です。また、現在の3歳児の基礎児童数から判断すると、緑丘小学校区に10数人、瑞穂小学校区に20人くらいの在宅の子どもがいます。合計30数人の子どもの中には、事業所内保育施設や認可外保育施設に通っている子どもも含まれますので、平成32年の5歳児の定数70人を下回る見込みです。

質問 18 0歳から2歳の小規模保育施設に通った後、全員が保育所に入る余裕があるのか。公立保育所ができる可能性はあるのか。

回答 18 本市は、今年4月も待機児童ゼロを達成しており、今後も継続できるよう努力します。また、公立保育所の開設は考えていません。

質問 19 市及び幼稚園ホームページをもう少し見やすく改善できないか。プレ保育の情報も、日時や金額などだけで教育内容が記載されていない。また、1歳半健診などで幼稚園の案内をするなど検討してほしい。

回答 19 ホームページについては、教育内容等も掲載できるようにします。